



国民春闘共闘

2022年度 第8号
2021年12月20日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第4回（最終）集計

単純平均 1.99 ヶ月 566,458 円、加重 605,626 円
前年同期比 単純 +0.08 月・+32,015 円、加重 +22,352 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は12月17日、第4回の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2021年	2020年同期
回答引き出し組合	1,412	1,252
うち 妥結組合	674(47.7%)	623(49.8%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象	2021年回答	2020年同期	同期比
単純平均	月数	1.99	1.91
	額(円)	566,458	534,443
加重平均	額(円)	605,626	583,274
	組合員数	252,992	250,866

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

	組合数	うち前年実績以上	21年回答	20年実績	実績比
単純平均	月数	927	793(85.5%)	2.00	1.92
	額(円)	464	343(73.9%)	583,718	550,718
					33,000

<非正規の仲間の回答状況>

	時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制	
単純平均	月数	0.954 (0.912)	1.399 (1.361)	0.876 (0.750)	1.429 (1.441)
	額(円)	54,441 (47,821)	183,001 (184,264)	74,298 (56,866)	166,484 (102,600)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

回答引出し・妥結状況

12月17日の年末一時金第4回集計には、別表の30単産・部会から報告が寄せられました。1,412組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は1,248組合となっています。

回答内容

回答月数が判明している1,118組合での単純平均(一組合あたりの平均)は1.99ヵ月で、前年同期(20/12/11、1.91ヵ月)を0.08ヵ月上回っています。回答金額が判明している605組合の単純平均は、566,458円で前年同期(534,443円)を32,015円上回っています。また加重平均(組合員一人あたりの平均)は605,626円で前年同期(583,274円)を22,352円上回っています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な927組合の単純平均を前年実績と比べると、2.00ヵ月で、前年実績(1.92ヵ月)を0.08ヵ月上回っています。927組合のうち前年同月数が339組合、前年実績を超えたところが414組合となっています。額では464組合の単純平均で、583,718円で前年実績(550,718円)を33,000円上回っています。464組合のうち、前年実績と同額が43組合、超えた組合が300組合となっています。

全体としては、コロナ禍以前の水準には届いていないものの、職場の要求を背景に秋年末闘争をたたかい、コロナ禍を理由に一時金の削減・抑制が行われた昨年実績を超える成果を勝ち取ったといえます。しかしながら他方では、産业内でも回答状況にばらつきが出ているとの報告も寄せられています。来春闘に向け統一闘争のいっそうの強化が求められています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の8単産282組合から441件の獲得報告が寄せられています。(前年は、10単産267組合429件)

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、建交労、JMITU、生協労連、全労連・全国一般、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連から266件の獲得報告となっています。月数報告のあった169件の単純平均は0.954ヵ月で、前年最終(0.912ヵ月)を0.042ヵ月上回っています。また、金額報告のあった141件の単純平均は54,441円で、前年最終(47,821円)を6,620円上回っています。

月給制労働者では124件の獲得となり、月数の単純平均は1.399ヵ月で、前年最終(1.361ヵ月)を0.038ヵ月上回っています。金額では183,001円で、前年最終(184,264円)を1,263円下回りました。

時給制の継続雇用者では、23件の引き出しとなり、月数の単純平均で0.876ヵ月、金額では74,298となっています。

月給制の継続雇用者では21件の引き出しとなっています。月数の単純平均で1.429ヵ月、金額では、166,484円となっています。

21秋季年末闘争では、「ボーナス差別NG」を掲げた社会的キャンペーンに取り組み、職場から、正社員・正規職員と同月数の回答を得たとの報告が寄せられています。